

禁煙科学 最近のエビデンス 2020/02

さいたま市立病院 館野博喜

Email:Hrk06tateno@aol.com

本シリーズでは、最近の禁煙科学に関する医学情報を要約して紹介しています。医学論文や学会発表等から有用と思われるものを、あくまで私的ではありますが選別し、医療専門職以外の方々にも読みやすい形で提供することを目的としています。より詳細な内容につきましては、併記の原著等をご参照ください。

2020/02 目次

KKE277 「救急科における自己決定理論に基づいた1分間の禁煙介入は長期禁煙効果がある：香港のRCT」

KKE277

「救急科における自己決定理論に基づいた1分間の禁煙介入は長期禁煙効果がある：香港のRCT」

Li WHC等、JAMA Intern Med. 2019 Dec 2. (Epub ahead) PMID: 31790546

<https://jamanetwork.com/journals/jamainternalmedicine/fullarticle/2756237>

→救急科の受診は禁煙啓発の好機である。

→救急科での禁煙介入の無作為化比較試験RCTに関するメタ解析もあるが、3か月以上の禁煙効果は示されていない。

→今回の介入法は自己決定理論に基づいており、外的な行動規制より自律性が高く、自己効力感や持続性などに優れると考えられる。

→香港の救急科を受診した中国人喫煙者に対し、短時間で廉価な禁煙介入の無作為化比較試験RCTを行った。

→香港の4つの区域の基幹急性期病院救急科において、一重盲検多施設RCTを行った。

→18歳以上の現喫煙者で、緊急性の低い救急受診で待ち時間があり、精神疾患のない者を対象とした。

→過去のNRTによる禁煙RCTの成功率(対照群4.4% vs 介入群8.0%)を参考に、検出力80%、有意水準5%の両側検定で各群の症例数を544例と算出し、6か月後の残留率70%として777例を目標とした。

→介入群はAWARDモデルを用いた短時間のアドバイスを、訓練を受けた退職看護師から受けた。

→AWARDモデルは臨床試験で有効性が示されており、

- 1) Ask : 喫煙歴を尋ねる
- 2) Warn : 喫煙による早死にリスクを警告する
- 3) Advise : すぐ禁煙するようアドバイスする
- 4) Refer : 電話禁煙支援に案内する
- 5) Do : 失敗したら上記を繰り返す

ことからなる。

→喫煙による早死にリスクの警告としては、

「WHOは喫煙者2人のうち1人は喫煙のために死亡すると警告しています。最近の研究では、若くして喫煙を開始すると3人のうち2人が喫煙で亡くなります。この1/2から2/3のリスクはとても高く危険です。あなたは禁煙のメリットをよく理解して禁煙することにしたのです」

という標準化された内容を伝え、介入は1分程度で終了した。

→また介入群では禁煙の仕方を、断煙にするか、減煙にするか(いずれも6か月後には禁煙できていることが目

標)を自己決定することができ、定期的に1分間の電話支援も行われた。

→減煙群には、最初の1週間で15%減らし、1か月で30%、3か月で50%、最終的に6か月でゼロにする案が例示された。

→介入群には1, 3, 6, 12か月後に電話がかけられ、先述の警告を再度伝え、努力を続けるよう強く促された。経過が順調な場合には、

「順調でおめでとうございます。禁煙を続けていく自信はどのくらいありますか?(断煙群)」「今後はどのくらい、どうやって減らす予定ですか?(減煙群)」「禁煙に成功してきっと健康な生活を送れますよ」と働きかけた。

→もし再喫煙したり本数が減らせなかった場合には、

「がっかりしないでください。次はどうやって禁煙したり、本数を減らそうと思っているか教えてくださいませんか?」

と話しかけ、その反応に合わせてアドバイスをしたり、禁煙が健康に良いことや、きっと成功できることを念押しした。

→これらの追加介入は2分ほどで行った。

→カウンセラーは退職した看護師で、研究チームが主催するワークショップで訓練を受けた。

→定期的な症例カンファレンスや録画と監修によるチェックを行い、介入の質と均一性を担保した。

→対照群は禁煙のパンフレットを提供され、電話支援も同頻度で行われたが、内容は運動と果物・野菜摂取を促す内容とした。

→6回の電話フォローを完遂すると100香港ドル(=13米ドル)が支払われ、6か月後と12か月後の確認検査に出席すると交通費と時間の代償として300香港ドルが支払われた。

→主要評価項目は、呼気CO<9ppmかつ唾液コチニン<115ng/mlで確認した6か月後の禁煙率とした。

→副次評価項目は、12か月後の禁煙率、6か月後と12か月後の1日喫煙量50%以上の減少、SEQ-12で評価した自己効力感、健康関連スコアSF-6D、などとした。

→健康関連スコアと生存時間から質調整生存年QALYsを算出した。

→また費用対効果についても検証した。

→2015年7月と2017年3月の間に、介入群787人、対照群784人が参入した。

→男性が88%、平均年齢47.4±16.4歳、6か月と12か月の残留率は68.5%と64.2%であった。

→主要評価項目の6か月禁煙率は、介入群6.7%、対照群2.8%(差3.9%、95%CI: 2.0%-6.0%、P<0.001)と有意に介入群で高く、1人の成功に必要な介入人数NNT=25.6人であった。

→自己申告による7日間禁煙率は6か月(12.2% vs 9.3%、P=0.04)、12か月(13.0% vs 8.5%、P<0.01)とも介入群で高く、検査で確認した12か月禁煙率も介入群で高かった(7.0% vs 3.7%、P<0.001)。

→1日喫煙量が50%以上減少した者の割合は、6か月では差がなく、12か月では介入群が高かった(20.0% vs 14.6%、P=0.03)。

→12か月後の自己効力感、6か月後と12か月後の健康関連スコアは、介入群が有意に高かった。

→1年間の介入により、0.0238QALY(0.6782 vs 0.6544、P=0.002)が獲得された。

→一般化推定方程式GEEモデルを用いて、年齢、性別、婚姻状況、雇用状況、教育レベル、月収、喫煙関連慢性疾患、QOL、禁煙への自己効力感、ニコチン依存、で調節した相対リスクを算出すると、6か月では3.21(95%CI: 1.74-5.93、P<0.001)、12か月では2.23(1.25-3.97、P=0.004)と有意に介入群の禁煙率が高かった。

→多重代入法や完遂例で行った感度分析も同様の結果であった。

→介入群1人が0.0238QALY獲得するのにかかるコストは0.47米ドルであり、増分費用対効果ICER=19.53米ドルは、過去の報告による191米ドルに比し許容範囲にあった。

→救急科受診時の無投薬短時間の禁煙介入は効果的である。

<選者コメント>

香港における救急外来での禁煙介入の報告です(=KKE274n)。

救急外来は何らかの症状を有して受診する場所であるため、健康への関心が高まりやすく、禁煙啓発の好機と考えられています。今回はその機を活かして1年間の介入を行い、直接的な薬物療法なしで半年で3倍、1年で2倍の禁煙率上昇が得られました。禁煙の仕方を、断煙法にするか減煙法にするか自己決定できたり、短時間かつ廉価な介入が特徴になっています。

健康関連スコアやコスト面での解析も行われ、今回の介入を受けることで1年間に得られた価値としては、まったく健康な人生の時間に換算して9日ほどになり、そのためにかかる介入コストは1人0.5米ドルと安く、25人に介入を施すと禁煙成功者を1人増やせる、ことが分かりました。6-12か月後の禁煙成功率自体は7%程度と高くはありませんが、薬も処方せず、たった1-2分の介入で2-3倍の効果が出ていることは意義が大きいと思われる。

その介入方法や看護師からの声かけの内容が具体的に記載されていたので、長文になりましたがご紹介させて頂きました。

注)なお、KKE276において「ビタミンE酢酸塩」と記載しましたが、「ビタミンE酢酸エステル」が正しいようでした。お詫びして訂正させて頂きます。

<その他の最近の報告>

KKE277a 「バレニクリンは同程度の胎児危険度分類の薬よりも処方者から情報サービスへの問い合わせが多い(豪州)」

Lee ML等、Drug Alcohol Rev. 2020 Jan 26. (Epub ahead) PMID: 31984591

KKE277b 「加熱式たばこ製品の使用実態、健康影響、たばこ規制への影響とそれを踏まえた政策提言」：日本からの報告

Nakamura M等、Nihon Kosho Eisei Zasshi. 2020;67(1):3-14. PMID: 32023592

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jph/67/1/67_19-039/_article/-char/ja/

KKE277c 「禁煙後6年間に体重増加がないと糖尿病患者の心血管リスクは低いが、体重が増えても死亡リスクは低い：米国1万人のコホート」

Liu G等、Lancet Diabetes Endocrinol. 2020 Feb;8(2):125-133. (Epub ahead) PMID: 31924561

KKE277d 「加熱式タバコの使用と認知度に関する系統的レビュー」

Ratajczak A等、Int J Environ Res Public Health. 2020 Jan 8;17(2). PMID: 31936252

KKE277e 「電子タバコの健康影響に関する系統的レビュー」

Bozier J等、Chest. 2020 Jan 29. (Epub ahead) PMID: 32006591

KKE277f 「肺癌患者への禁煙介入に関するコクラン・レビュー」

Zeng L等、Cochrane Database Syst Rev. 2019 Jun 7;6:CD011751. PMID: 31173336

KKE277g 「かかりつけ医でのNRT無償支給は禁煙試行と短期禁煙率を高めた：実地クラスターRCT」

Carpenter MJ等、Addiction. 2020 Jan 8. (Epub ahead) PMID: 31916303

KKE277h 「アレンカーの禁煙療法は専門家による行動・薬物禁煙治療に勝らず：英国RCT」

Frings D等、Addiction. 2020 Jan 22. (Epub ahead) PMID: 31968400

KKE277i 「低所得入院患者への報酬を伴う禁煙介入は効果を上げず：米国RCT」

Ladapo JA等、Am J Med. 2020 Jan 23. (Epub ahead) PMID: 31982494

- KKE277j 「禁煙外来治療に外部の体重管理プログラムを併用すると禁煙後の体重増加が減った：英国RCT」
Lycett D等、BMJ Open. 2020 Jan 26;10(1):e032271. PMID: 31988226
- KKE277k 「遠隔医療は周産期の禁煙など産婦人科領域の介入に有効：系統的レビュー」
DeNicola N等、Obstet Gynecol. 2020 Feb;135(2):371-382. PMID: 31977782
- KKE277l 「心不全の診断後も喫煙を続けると入院や死亡が多い：メタ解析」
Son YJ等、Tob Induc Dis. 2020 Jan 20;18:05. PMID: 31997987
- KKE277m 「疼痛に対する脊髄刺激療法を受ける患者は喫煙率が高い：メタ解析」
Hooten WM等、Reg Anesth Pain Med. 2020 Jan 28. (Epub ahead) PMID: 31996403
- KKE277n 「禁煙のRCTで対照群が受けている治療は内容も効果も多彩：メタ解析」
Black N等、Addiction. 2020 Feb 11. (Epub ahead) PMID: 32043675
- KKE277o 「統合失調症患者への禁煙補助薬使用に関する系統的レビュー」
Kozak K等、Expert Opin Pharmacother. 2020 Feb 3:1-10. (Epub ahead) PMID: 32011186
- KKE277p 「体重増加懸念のある女性への情動耐性治療を併用した禁煙支援の有効性は示されず(探索的RCT)」
Bloom EL等、Nicotine Tob Res. 2020 Jan 29. (Epub ahead) PMID: 31993658
- KKE277q 「報酬を与える禁煙治療の成功は自己効力感と補助薬使用を高めることに起因する(オランダの無作為化試験の二次解析)」
van den Brand FA等、Nicotine Tob Res. 2020 Jan 29. (Epub ahead) PMID: 31993637
- KKE277r 「パニック障害喫煙者へのD-サイクロセリン投与は禁煙率を上げない：探索的RCT」
Smits JAJ等、Drug Alcohol Depend. 2020 Jan 22;208:107877. (Epub ahead) PMID: 32004998
- KKE277s 「歯の損失に対する禁煙の効果：観察研究のメタ解析」
Souto MLS等、BMC Oral Health. 2019 Nov 12;19(1):245. PMID: 31718636
- KKE277t 「先天奇形は非喫煙妊婦の受動喫煙と関連する：観察研究のメタ解析」
Zheng Z等、Birth. 2019 Jun;46(2):222-233. PMID: 30284325
- KKE277u 「ORBITモデルを用いた禁煙アプリのレビュー」
Vilardaga R等、Curr Addict Rep. 2019 Jun;6(2):86-97. PMID: 32010548
- KKE277v 「肺癌の一次・二次予防としての禁煙治療(レビュー)」
Kathuria H等、Clin Chest Med. 2020 Mar;41(1):39-51. PMID: 32008628
- KKE277w 「バレニクリン使用妊婦は周産期合併症や新生児合併症が少なかった：豪州の傾向スコア分析研究」
Tran DT等、BMC Med. 2020 Feb 5;18(1):15. PMID: 32019533
- KKE277x 「受動喫煙のある子は高血圧が多いがペットを飼っていると少ない：中国9千人の調査」
Xu SL等、Sci Total Environ. 2020 Jan 22;715:136859. (Epub ahead) PMID: 32014767
- KKE277y 「無料のスマホアプリで心拍数低下を調べると禁煙を確認できる」
Herbec A等、Nicotine Tob Res. 2020 Jan 23. (Epub ahead) PMID: 31971595
- KKE277z 「JUUL、IQOS、紙巻タバコ喫煙時の血中ニコチン濃度変化と喫煙欲求抑制効果の比較実験」
Maloney S等、Tob Control. 2020 Feb 10. (Epub ahead) PMID: 32041833
- KKE277aa 「英国IQOS使用者の使用開始および中止理由(質的研究)」
Tompkins CNE等、Tob Control. 2020 Jan 15. (Epub ahead) PMID: 31941822
- KKE277ab 「加熱式タバコの併用は未成年者の喘息・アレルギー性鼻炎のリスクを上げる(韓国の横断調査)」
Chung SJ等、Allergy. 2020 Jan 31. (Epub ahead) PMID: 32003899
- KKE277ac 「経皮的冠動脈形成術後のクロピドグレル投与患者が禁煙すると血小板反応性が高まる可能性に注意」

- Ramotowski B等、Thromb Haemost. 2020 Jan 15. (Epub ahead) PMID: 31940672
KKE277ad 「8歳児のテロメア長は妊娠中に受動喫煙程度でもタバコ煙曝露があると短縮している」
- Osorio-Yanez C等、Sci Total Environ. 2020 Apr 1;711:135028. PMID: 32000334
KKE277ae 「ニコチンパッチは大麻禁煙の離脱症状を軽減する：無作為化比較試験」
- Gilbert DG等、Psychopharmacology (Berl). 2020 Feb 7. (Epub ahead) PMID: 32034447
KKE277af 「日本の店や職場での屋内喫煙率は中国より高い：ITC Japanネット調査」
- Sansone G等、Int J Environ Res Public Health. 2020 Feb 4;17(3). PMID: 32033243
KKE277ag 「日本のタバコ包装警告文の効果と写真入り警告表示の支持率：ITC japanネット調査」
- Chung-Hall J等、Int J Environ Res Public Health. 2020 Feb 4;17(3). PMID: 32033056
KKE277ah 「受動喫煙は用量依存的にクローン病発症と関連する：日本の症例対照研究」
- Kondo K等、PLoS One. 2019 Jun 7;14(6):e0216429. PMID: 31173593
KKE277ai 「台湾高齢者の禁煙治療ではバレニクリンがNRTより3倍有効」
- Chang CP等、Int J Environ Res Public Health. 2019 Sep 18;16(18). PMID: 31540355
KKE277aj 「受動喫煙がある日本の若年成人女性は睡眠の質が低く歯ぎしりが多い：横断調査」
- Toyama N等、Sleep Med. 2019 Sep 12;68:57-62. (Epub ahead) PMID: 32028227
KKE277al 「電子タバコが禁煙に役立つと考える喫煙者は禁煙の場所でも電子タバコを使用する者が多い」
- Dunbar ZR等、Int J Environ Res Public Health. 2020 Feb 4;17(3). PMID: 32033239
KKE277am 「電子タバコ溶液化学物質の生物への影響に関するまとめ」
- Merecz-Sadowska A等、Int J Mol Sci. 2020 Jan 19;21(2). PMID: 31963832
KKE277an 「Juulはニコチン送達が多く依存を形成しやすい可能性がある」
- Hajek P等、Addiction. 2020 Jan 29. (Epub ahead) PMID: 31994254
KKE277ao 「加熱式タバコや電子タバコへの急性生体反応には個人差がある」
- Frati G等、Curr Atheroscler Rep. 2020 Feb 7;22(2):8. PMID: 32034541
KKE277ap 「IQOSの吸い殻は水の金属汚染のもとになる：濾過実験」
- Koutela N等、Sci Total Environ. 2020 Jan 15;714:136700. (Epub ahead) PMID: 32028551
KKE277aq 「車内でのIQOS喫煙による汚染物質の計測実験」
- Schober W等、Int J Hyg Environ Health. 2019 Apr;222(3):486-493. PMID: 30685192
KKE277ar 「IQOSの害低減の宣伝文句は若者の使用開始のもとになる可能性がある」
- McKelvey K等、Tob Control. 2020 Feb 6. (Epub ahead) PMID: 32029537
KKE277as 「2012-2018年チェコ共和国における電子タバコ・加熱式タバコの誤用急性曝露報告」
- Obertova N等、Basic Clin Pharmacol Toxicol. 2020 Feb 3. (Epub ahead) PMID: 32012431